RESQ

新しい・より安全な「避難」の形

火災ヒナンクリーム

国際標準ISO
取得
火災避難用防煙マスク
災害安全製品認証



危険な炎から
肌を守る

塗るだけ
簡単

安心の
天然
成分

長期
保存

塗るだけで、炎の熱から肌を保護 高分子皮膚保護水



RESQ

肌を火傷から守る
次世代の火災避難クリーム

火災の危険は「煙」や「炎」だけではありません。

火災発生時、人は煙や炎だけでなく、高温化した空気や輻射熱、
熱風といった目に見えない熱の影響にもさらされます。
炎に触れていなくても皮膚ダメージを負うことがあり、
安全な避難にはこうした「熱」への備えが必要になります。

火災時の“肌”を守る、新しい防災対策

「皮膚遮熱クリーム」

火災死者の約35%は炎や熱による「火傷」が原因です。



火傷は「炎に触れた時」だけで起こるものではありません。

火災による火傷は、炎に直接触れた場合だけでなく、高温の空気や輻射熱、熱風によっても引き起こされることがあります。建物内では、火元から離れた場所であっても温度が急激に上昇し、皮膚が強い熱にさらされる環境が短時間で形成されます。このため、避難中に炎が見えない状況でも火傷のリスクが存在します。

火災時の火傷は命だけでなく、その後の生活にも関わる問題です。

火災によって命が助かっても、その後の「火傷による後遺症」に悩まされる人は少なくありません。安全な避難のためには、火災に対する対策が重要になります。

Point 1

炎に触れなくても起こる火傷リスクに着目

熱から皮膚を守る「皮膚保護層形成クリーム」



RESQ火災避難クリームは、皮膚表面に均一に広がることで保護層を形成し、熱の影響を直接受けにくくすることを目的とした防災用クリームです。高温の空気や輻射熱、熱風など、火災時に皮膚へ伝わる熱に対し、肌と熱の間に一層をつくることで、避難行動時の皮膚保護をサポートします。

クリーム塗布後に直接火を当てても皮膚を保護します。

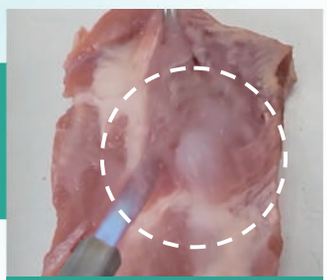
※本製品は緊急避難用です。怪我をする恐れがあるため、絶対に真似しないでください。

クリーム塗布の有無による状態変化をテスト

クリームを塗布したお肉は表面の状態変化が抑えられ、未使用のお肉には焦げや変色が確認されました。

※本テストはイメージを示すための比較実験です。
※人体での使用結果を保証するものではありません。
※実際の火災環境・使用状況により結果は異なります。

同一条件下で、お肉に高温のバーナーを一定時間照射する比較テストを実施。



RESQを使用した場合



RESQ未使用

Point 2

熱・高温環境から皮膚を守るために

「皮膚保護層形成構造」の仕組み

皮膚と熱、その間に一層をつくる発想で熱の影響をシャットアウト。

RESQ　火災避難クリームは、皮膚表面に均一に広がり、熱源と皮膚の間に保護層を形成することを目的とした設計です。火災時に発生する高温の空気や輻射熱、熱風など、皮膚に伝わるさまざまな熱の影響に対し、直接的な接触を避けることで避難行動時の皮膚保護をサポートします。

※イメージ図

Point 3

非常時だからこそ、肌に使うものは慎重に

安全性に配慮した。「自然由来の成分配合」。

RESQ火災避難クリームは、皮膚へ使用する事を考え、成分選定の段階から人体への影響に配慮した設計を行っています。避難時という特殊な状況でも使いやすいよう、日常的に皮膚へ触れる製品にも使用される成分を中心に構成し、防災用途としての実用性を追求しました。



アロエエキス



日常的にスキンケア製品にも使用される成分。肌の保湿と火傷等の鎮静を促します。

キュウリエキス



90%以上の水分で火災時や高温環境による乾燥から皮膚を守ります。

ティーツリーオイル



植物由来の精油であり、欧州や北米で炎症治療剤として使われています。

カモミール



日常的にスキンケア製品にも使用される成分。肌環境を整え、乾燥しにくい状態をサポートします。

Point 4

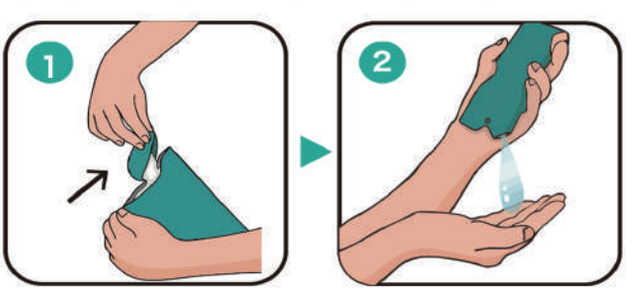
一刻を争う状況を想定したシンプル設計

迷わず使える。「開けて塗るだけ」で準備完了。

火災発生時は、冷静に手順を確認したり、説明書を読む余裕はほとんどありません。RESQ火災避難クリームは、「開封して、皮膚に塗布する」という単純な使い方に特化し、緊急時の判断や行動を妨げず、スムーズな避難をサポートします。

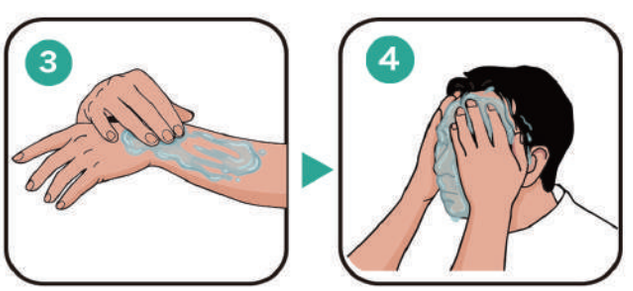


※塗布する際は、薄く塗りすぎず、分厚くたっぷりと塗ってください。塗布膜が薄すぎると効果を発揮できない可能性があります。



切り込み線に沿って開封

内容液を手に絞り出す



手や腕などの露出した部分に塗布する。

まぶたやまゆ毛、耳〜首までくまなく塗布する

RESQ

新しい・より安全な「避難」の形

火災ヒナンクリーム



肌を火傷から守る次世代の火災避難クリーム

火災は、いつ、どこで起こるかわからない。

RESQ火災ヒナンマスクの「備蓄場所」

RESQは、緊急時に即座に使用できるよう、人命被害のリスクが高い場所や、避難経路が複雑な場所に備蓄することを推奨します。これらの場所への設置をご検討ください。

寝室



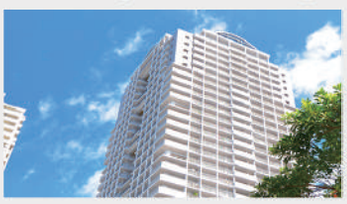
就寝中など、初期対応が遅れやすく、無防備。

2階（戸建て）



火災発生に気づきにくく、避難経路が限定される。

玄関（マンション）



火災発生に気づきにくく、避難経路が限定される。

車の中



車両火災や渋滞時・トンネル火災等への備え。

ホテルの客室



脱出経路が長く、複雑で逃げ遅れやすい。

オフィス・会議室



多数の利用者が長時間滞在する場所

病室・療養施設



迅速な移動が困難な利用者が多い場所。

工場・倉庫



可燃物が多く、有毒ガス発生の可能性が高い場所。

FAQ

購入前の不安を解消します。

Q いつ使うものですか？

避難行動に入る直前、露出している皮膚へ塗布してください。少量を使う場合は先端側、大量に使う場合は根元側の空け口から開封してください。

Q どこに塗ればいいですか？

顔や腕、首元など、肌が露出する部分にくまなく塗布してください。まぶたや耳などにもできるだけ塗り漏れがないようご注意ください。塗り忘れの部分は熱が遮断できず、火傷等のダメージを負う可能性があります。

Q 子供にも使用できますか？

本製品はお子様にも安心してお使いいただけます。お子様への使用については、必ず保護者様の管理の元で行い、適切な塗布がなされているか確認してください。また、普段はお子様の手に届かない場所で保管してください。

Q 日常的に使用できますか？

本製品は火災などの高温環境や避難行動といった特殊な状況を前提に設計されており、通常の生活環境で使用する目的とは異なります。不必要に開封せず、一度開封した内容液は再利用しないでください。機能性が損なわれ、効果を発揮できなくなります。

BETTER SAFETY FOR + JAPAN

BOUSAI SOLUTIONS JAPAN Co.,Ltd.

防災ソリューションズジャパン株式会社

防災ソリューションズジャパン株式会社 / Bousaisolutionsjapan co.,ltd.td.
〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場3丁目2番22号 おおきに南船場ビル205
/205 Okini Minamisenba Building 3-2-22 Minamisenba, Chuo-ku, Osaka-shi, Osaka 542-0081 Japan
www.bousaisolutionsjapan@gmail.com